

辺野古埋立工事の実態
～ 工事は既に3年遅れている。完成はいつ？～

3年遅れの主な要因

《県民の抗議活動による遅れ》

- 海上での抗議活動を防ぐためのフロート等の設置など(約8ヶ月)
- 日常的な抗議活動

《知事の権限行使による遅れ》

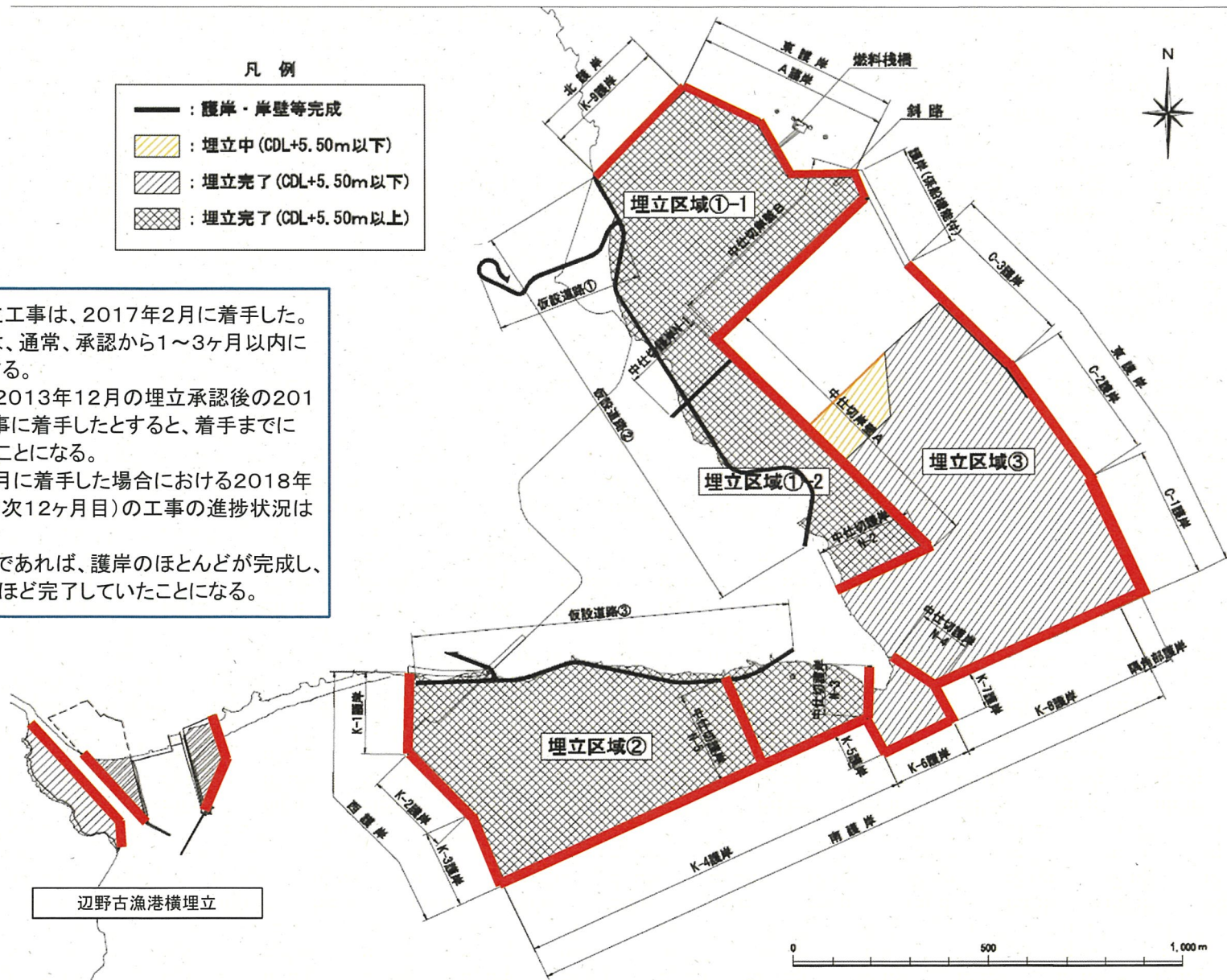
- 承認取り消しなど(約1ヶ月)
- 訴訟結果としての和解による工事停止(約10ヶ月)

埋立承認後に工事に着手した場合における進捗状況

凡例

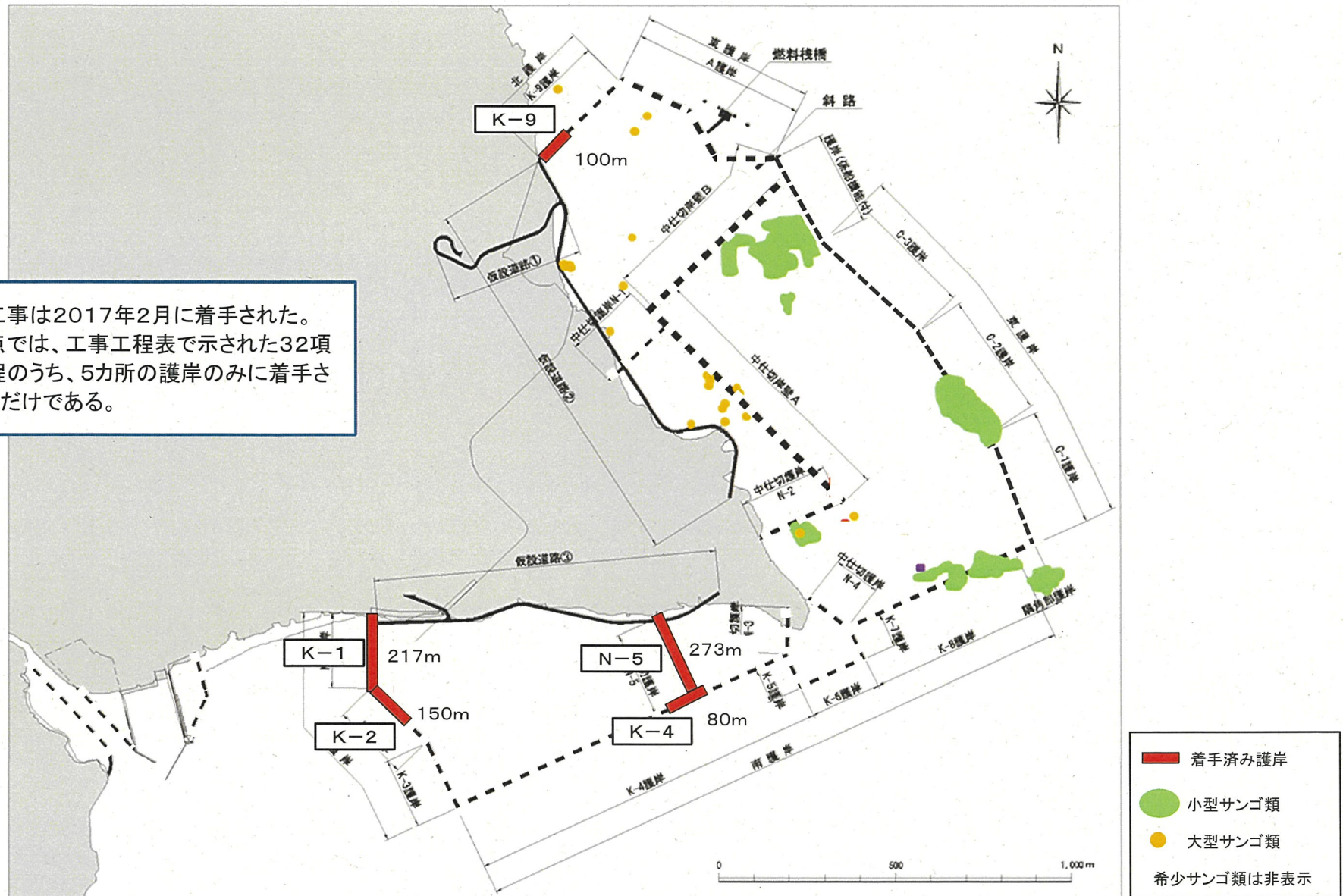
	護岸・岸壁等完成
	埋立中 (CDL+5.50m以下)
	埋立完了 (CDL+5.50m以下)
	埋立完了 (CDL+5.50m以上)

○辺野古埋立工事は、2017年2月に着手した。
 ○埋立工事は、通常、承認から1～3ヶ月以内に工事に着手する。
 ○そのため、2013年12月の埋立承認後の2014年2月に工事に着手したとすると、着手までに約3年遅れたことになる。
 ○2014年2月に着手した場合における2018年1月時点(3年次12ヶ月目)の工事の進捗状況は図のとおり。
 ○通常どおりであれば、護岸のほとんどが完成し、埋立が約8割ほど完了していたことになる。



現況の工事の進捗状況(2018年2月時点)

○埋立工事は2017年2月に着手された。
○現時点では、工事工程表で示された32項目の工程のうち、5カ所の護岸のみに着手されているだけである。

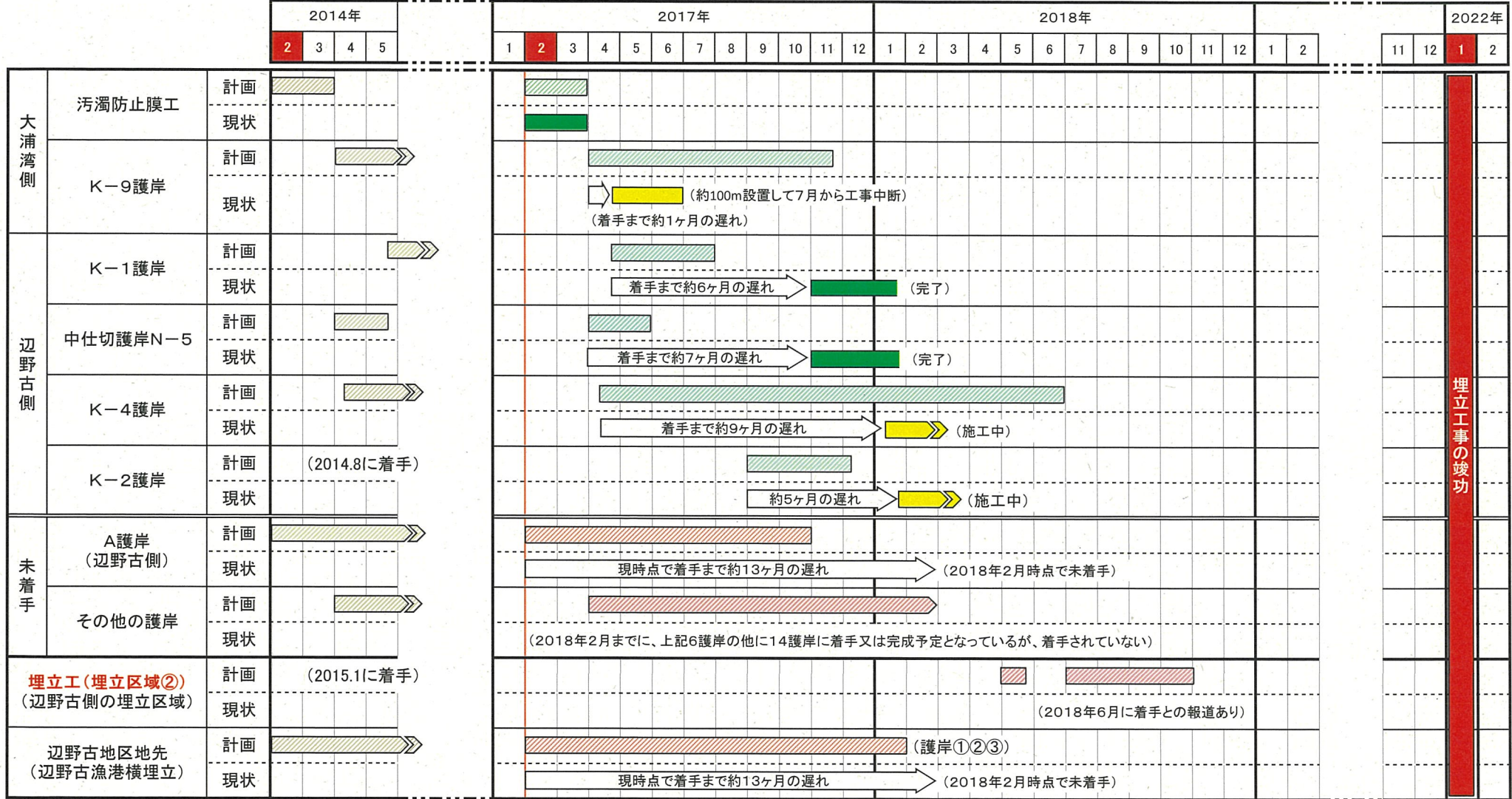


辺野古新基地建設に係る埋立工事の遅れ(概略図)

「約3年の遅れ」

- 埋立承認時期(2013.12.27)から想定される工事着手時期から実際の工事着手まで約3年遅れている。
- 実際の工事着手も、工事工程の計画から、最大で13ヶ月着手が遅れている工事がある。

↓ 想定着手時期 ↓ 埋立工事へ実際の着手時期 ↓ 竣工時期も大幅に遅れる可能性あり ↓



[斜線] 2014年2月に着手した場合に願書で示された当初の工事工程を当てはめた工事計画

[緑] 工事完了 [黄] 工事中断 [黄] 施工中 [赤] 未着手

[斜線] 2017年2月の着手に願書で示された当初の工事工程を当てはめた工事計画

埋立工事の竣工